

<注意事項>

※赤文字は削除してご使用ください。

※フォントは 12 ポイント以上/推奨フォント Meiryu UI、余白は 10mm 以上でご記入ください

※各項目の枠の幅はご自由に設定ください。

No.【2021051】

※画像、写真、イラスト等添付可能ですが、必ず用紙の中に収まるようにお願いします。

【エントリー名】 PR を DX して日本の広報を変える - PR オートメーション

【事業主体】

ブラップノード株式会社

【カテゴリー】いずれか 1 つに✓を入れてください。

- マーケティング コーポレート ソーシャルグッド
- その他（システム開発、研究活動、執筆など①～③にあてはまらないもの）

案件概要： Describe the campaign/entry

- 例えば営業の SFA・マーケティングの MA・人事の HR Tech のように、**その分野でビジネス上欠かせなくなった DX ツールが、広報には存在しない**
- ワイヤサービスによるプレスリリースのデジタル化や、PR と SNS や広告との組合せ、インフルエンサーの管理といった「デジタルを活用した PR 手法の拡張サービス」はあるものの、**本丸である PR 業務それ自体の DX にはこれまで手がつけられていなかった**
- そこで半世紀に渡って積み上げた PR 会社の膨大な知見を、新しい PR SaaS に搭載し、**日本の広報をアップデートしよう**というプロジェクトをスタートさせた
- ゴールは 2 つ。1 つは、**日本の PR を「簡単かつ本質的」にすること**。毎朝のクリップ収集や、延々つづく記者リストのメンテナンス、散逸しがちな取材調整の履歴など、シャドーワーク的で時間のかかる集計作業から担当者を解放し、より本質的な企画検討などに時間を使ってもらうこと
- もう 1 つは、**いままでにない新しいインサイトを発見しやすくすることで、成果向上をサポートすること**。ターゲット記者の興味を測定したり、すべての記事の SNS 上での反響を測定できるようになることで「PR の社会的インパクト」が自動集計できたなら、ブラックボックスになりがちな PR のプロセスや成果確認がクリアになり、より多くの方に広報効果を理解しやすいものにできる
- ただし、実務で使えこなせないほどにインターフェースが複雑なら、このツールの浸透までのハードルが高くなってしまいます。息切れしない“かるい”ユーザー体験で、明日から使えるプラクティカルなツールになるよう企画・設計・実装に取組んだ
- 2020 年 12 月に正式版リリースし、2021 年 9 月末現在で 300 社以上が導入する急成長サービスとなった

解決すべき課題： Challenges

- 広報に求められる普遍的な業務を吟味し、その自動化にフォーカスした DX ツールを制作して、生産性向上をサポートする
 - ・ 自動化によって業務フローを軽くし、PR の最もクリエイティブな部分である、PR ストーリー作りや情報加工に力を注げるようサポートする
 - ・ デジタル技術の導入でいろいろな KPI を「見える化」し、今まで見ていなかったインサイトを PR にもたらす

パブリックリレーションズとしての視点： Why PR ?

- PR 実務者が使いやすくなるための視点が必要な課題は以下の 2 点
- **実装機能の選定**：多岐に及ぶ PR 業務の中から、このツールに搭載すべき作業を選ぶ（企画作り、プレスリリース作成・配信、メディアリスト管理、クリッピング、リレーションのログ、レポート、SNS 管理、広告管理 etc.）
 - **UI（ユーザーインターフェース）としての表現方法**：ハイレベルの広報業務を、誰にでも開かれた使いやすいインターフェースで対応できるように

課題解決のための戦略： Strategy

- **アジャイルの徹底**：全く新しい SaaS のため、最初から完成形は作れないと割り切った。ユーザーボイスの取り入れを強く意識し、販売体制の軸に定例会つきのカスタマーサクセスを導入。ユーザーと開発チームの意思伝達をスムーズにし、**利活用≧開発改修のフィードバック体制を確立し、300 件の改修実績**
- **βユーザーからの磨き上げ**：グループメリットを生かし、ブラップグループへの先行公開とフィードバックで**ユーザーニーズを実装レベルで的確に捉えた**
- **ヒアリングの徹底**：広報担当者や経験者から業務フローを聞き取り、分解し、クラウドで再現するためのヒアリングを延べ **1,000 時間以上実施した**
- **先端技術導入の徹底**：UI 設計と技術選定のため、パートナーの SaaS ベンダーと **130 時間の開発会議を実施した**

課題解決のためのアイデア： Idea

- PR 業務をただクラウド化するだけでなく、未来の PR 視点を持つオリジナル機能を企画考案し、実装した
 - ・ **企画を作る**：国内の全ニュース記事を SNS 反響とともに保存するデータベースと API 連携し、キーワードを元にバズがつく記事を一覧化できる機能を搭載。人を動かすニュースがどういふものを簡単に参照できるようにした
 - ・ **PR 専用の KPI ツリー**：リリースなどの配信時に配信数→既読数→掲載数→バズ数を一連のファネルにしたもの。ターゲットメディアの総数→メディアの興味数→掲載数→社会へのインパクトを定量的に見える化した
 - ・ **取材カード**：取材問合せをカード化して、パイプラインの中に設置できる機能。メディアリレーションの状況が一覧で見える
 - ・ **ダッシュボード**：全ての機能と PR の結果が定量化してマンスリーで見える

活動内容： Execution

企画は 2018 年に始動し、2019 年に本格化。2020 年 3 月にブラップジャパン社とショーケース社が合併で、PR オートメーションの開発・運営するブラップノード株式会社を設立。2020 年 9 月にベータ版リリース、同年 12 月に正式版をリリースした。すでに**メジャーアップデートを 4 回実施し**、急速に進化している

目標に対する直接的・間接的な成果： Results ※広告換算の記載は禁止

- 多くの広報担当者のご理解を得て、初年度 SaaS としては異例の導入社数を得た。
 - ・ **初年度導入社数：300 社超**
 - ・ **プレスリリース配信本数：12,548 本**
- 広報・PR 分野における DX 機運醸成に一役買った。